

山本クリニック

令和 6 年度第 2 回介護・医療連携推進会議議事録

場所：医療法人 久生会 山本クリニック 1 階会議室

開催日時：令和 7 年 3 月 27 日（木）14 時～15 時

1. 挨拶

① 挨拶・・・定期巡回随時対応型訪問介護看護 管理者 遠藤 安岐子

本日は大変お忙しい中、ご出席して頂きましてありがとうございます。

② 出席者自己紹介（別紙資料 1 参照）

2. 議事内容

① 定期巡回サービス提供等状況報告について（別紙資料 2 参照）

令和 7 年 2 月時点で平均要介護度は 2.29 です。

定期の訪問回数、日中 1203 回、夜間 3957 回 合計 5160 回

随時の訪問回数、日中 139 回、夜間 139 回 合計 278 回となっています。

日中とは、8：00～18：00 夜間、18：00～翌日 8：00 までとなります。

昨年 8 月のデータと比較しても大きな変化はありません。

2 月時点、利用者数は 41 名です。

昨年の推進会議で 8 月の時点では地域提供が 0 名と報告しましたが、10 月より 1 名の利用が開始されました。この利用者様は、定期巡回利用前、訪問介護を利用されていたが、朝、夕の服薬介助、確認が毎日必要なこともあり、限度額オーバーとなる為、定期巡回対応となりました。その他のサービス内容はゴミ出し、デイの送り出し夕食の準備等です。毎日、違うスタッフが訪問する事になりますが、最初の 1 週間は、朝、夕とスタッフに同行し、利用者が不安にならないように努めました。

3 月の現時点でも地域提供について

地域提供 1 名の利用者は 3 月 15 日 つどいの郷へ入居しました。帰宅願望がありますが、自宅に訪問していた馴染みのスタッフが変わらず対応しているので、笑顔も多くみられています。

新規利用者として、3 月末に退院され、定期巡回の利用する方が 1 名いらっしゃいます。

そのほか、現在、相談受付の方が 1 名おります。

② 定期巡回ソフト「スマケア」を使用したケアマネジャーや訪問看護、家族との連携について（別紙資料 2 参照）

家族様、担当ケアマネジャー様、連携先の訪問看護には、個別の ID/パスワードを発行し

ています。スマートフォン用 QR コード、URL にアクセスしていただき、ID/パスワードを入力すると利用者様の定期巡回サービスの記録、住宅での記録が閲覧できます。

基本情報、健康情報、月間プラン、計画書、手順書なども閲覧でき、本日のサービス時間、対応スタッフ、項目、特記事項、バイタルや食事量、排泄等の記録が見る事ができます。住宅の記録、訪問診療、訪問歯科、訪問看護からの報告事項、デイサービスの連絡等も記録していますので、確認することができます。

生活用品など、足りなくなってきた時の連絡としても活用しています。

このように家族様だけでなく訪問看護様にも ID/パスワードを発行し担当の利用者様のみに閲覧できるようにしていますので、日々の状況、状態の確認をしてもらっています。ケアマネジャー様にも同様に ID/パスワードを発行し、担当の利用者様の状況や状態をいつでも確認できるようにしています。

③ 定期巡期自己評価・外部評価について（別紙資料 3 参照）

外部評価の発表とコメントに關しての回答

- ・項目番号 5 連携先のスマケアの確認について

定期巡回ソフト「スマケア」を使用したケアマネジャーや訪問看護、家族との連携について 別紙資料 2 の説明の通り

- ・項目番号 9 訓練の実施について

地域住民の参加には至っていない。

- ・項目番号 12 好事例として

訪問看護様からの報告で浮腫が強くなってきている、浮腫の観察、心臓が悪いため、安否確認時等は呼吸状態に気を付けるように助言あり。助言などを頂いたときは職員にすぐに伝わるよう一斉通知というスマケアの機能を使い通知している。

- ・項目番号 13 好事例として

自分で出来ている事は継続していけるようにすべてを介助してしまうのではなく、声掛けや確認するようにしている。起床時や就寝時の歯磨きや更衣も促すようにしている。服薬も自己で管理している方には継続してもらい、飲んだかの確認のみを行うようにする等。

- ・項目番号 16 好事例として

サービス提供時、車椅子からの移乗、立ち上がり、歩行状態等の変化を記録するとともにケアマネジャーに連絡、手すりの設置や位置、歩行器、車椅子の変更をしてもらっています。定期巡回サービスの頻度や内容の変更にも努めています。

項目番号 26 「必ず」

必ずという表現は削除します。

項目番号 28 ホームページについて

公開していた日程、内容が間違っていました。すぐに訂正しています。

項目番号 29 どのような点が出来ていないのか？

ケアマネジャー様に説明するなど昨年度よりは周知活動として頑張ったつもりですが、地域提供を展開できなかったのも、できていないことが多いとしました。

項目番号 31

地域提供とつどいの郷での定期巡回について

地域提供に関しては、思うように利用者数は増やしていけないのが現実です。今年度も1名という状況です。前回の推進会議でケアマネジャー様方に定期巡回の説明を行い、利用を検討していただいた利用者様もありましたが、利用には至りませんでした。利用者様側が来てもらいたい時間帯への職員配置等が難しかったからです。難しい状況ではありますが、今後も職員の確保と営業チラシ、パンフレット等で定期巡回サービスの説明を繰り返し行い、利用につなげていきたいと思います。

住宅における定期巡回ですが、訪問介護では定期的な訪問だけですが、定期巡回では随時対応、訪問ができる事がサ高住でもその人の生活に合わせたサービスの提供ができると思います。体調不良、発熱等随時訪問し、検温、水分補給を行う事ができます。日頃でも、トイレの訴え時、随時の対応、訪問ができます。よって、利用者様の状態や状況に合わせた対応が可能と考えます。

項目番号 32

実施状況 できていないことが多いとしていたが、記載間違いです。

ほぼできているに訂正します。

項目番号 33 どのように目標達成につながっているのか？

目標 トイレで排泄ができる

オムツ、パッドでの排泄が主だった方ですが、トイレ介助を定期で実施し、目標達成に努めました。トイレで排泄ができる回数が増え、次第にトイレの訴えがコールで押してくれるようになり、定期での対応でなく、随時の対応がその人のタイミングに合わせられるとして、現在は随時対応、訪問にてトイレで排泄ができるようになっていきます。

④ サービス付き高齢者向け住宅 つどいの郷入居状況（別紙資料2 参照）

つどいの郷 管理者 中山 さとみ

つどいの郷 平成30年4月に開設し、6年が経とうとしています。

男性 10名・女性 30名 40名 です。

平均 要介護度 2.18 です。

サービス付き高齢者向け住宅とは・・・バリアフリーが完備された高齢者の住まいとされています。安否確認や生活相談のサービスが受けられます。

一般型・介護型があります。一般型は介護が必要になった場合、外部からのサービスを受ける事ができます。介護型は介護サービスが住宅に常駐しているスタッフか受ける事ができます。入居条件は60歳以上の方、または、要支援、要介護認定者等になっています。

つどいの郷は一般型となっており、外部からのサービスを受ける事ができます。

住宅での生活相談、安否確認だけでは賄えない為、定期巡回サービスを利用してもらい、住宅と定期巡回の職員で連携して支援しています。医療が必要な方には連携先のはやしもと様や紀三井寺苑様の訪問看護で対応しています。

⑤ 定期巡回・つどいの郷 イベント及び活動内容（別紙資料2 参照）

- ・ 亀川中学校 2年生との交流、お誕生会、サックス演奏会、マジックショー、防災訓練、クリスマス会、ひな祭り等

- ・ 研修、勉強会

定期巡回の職員だけでなく、住宅職員も研修や勉強会を行っています。

⑥ 質疑応答

Q：定期巡回のサービスをサ高住以外地域で展開するのが難しいとする、1番原因となっているのは？

A：利用者がサ高住で40名、1名が地域提供ですが、この40名の方で訪問する時間がずっと入っています。新規の利用者様のご紹介を頂いても、空いている時間に組み入れる事が難しい。希望される時間に訪問する事が難しい。サ高住も地域も必要とされる時間帯が重なっている事などが原因と考えられます。もう1つ訪問ルートを作ることができれば、地域への提供が行う事ができるのかと思うが、職員が確保できないという現状です。

CMより

定期巡回の周知不足というのもあると思います。

利用者様に提案させてもらった時も いつ・何時でも・どこでも 呼んだら来てくれる、夜中、ちょっとベッドからずり落ちたらすぐ来てくれるのね、というサービスと勘違いしてしまう利用者様が多く、定期巡回のスタッフに相談して、一緒に利用者様宅へ行って説明をして提案させてもらおうと話にまでなるのですが、定期巡回を使いたい方となると、支給限度額を超えてきそうな訪問介護が必要な方となり、やはり呼んだらすぐ来てもらいたいと強くなるので、ネックになってくると思います。本人様とご家族様の理解が必要になってくると思います。

Q：随時の対応は夜間も訪問できる体制ですか？

A：住宅内では随時の対応、訪問は実施しております。地域への随時の訪問は呼ばれたことがないので、実質は訪問がないですが、夜勤は2名ありますので、随時訪問の体制はとっております。

Q：つどいの郷は一般型ということですが、介護型とか特定施設とかに変えるとかは考えていないのですか？

A：特定になってしまうと施設内で解決してしまうので、外のサービスは使えないので、今入居されている方も入居も思案するのではないかと思います。
現在、介護型や特定などへの検討はされていないと思います。

Q：定期巡回のサービスは、やっているところが少ないと思うのですが、地域でうまくやっているところはあるのか？

A：和歌山市内では、シルバーネスト様が定期巡回を行っているようですが、訪問介護も訪問看護も両方ありますので、分担して、スムーズには出来ているようです。件数的にはどれだけあるのかは聞いていないのでわかりませんが、訪問介護と訪問看護があれば定期巡回も回りやすいとは聞いています。

現在、山本クリニックは、訪問介護、訪問看護もないので、難しいところです。何とかしていききたいとは考えて、

地域提供は、現在1件ですが、昨年度よりは相談件数は少しずつ増えてきています。最初の年から比べれば、少しずつ定期巡回を知ってもらえるようになってきたように感じます。実際に利用者が増えてくるように、話をする機会を持っていききたいと思います。

閉会

御多忙の中、ご出席いただきありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。

今後の会議の開催予定

次回開催は、日時等は決定次第ご連絡させていただきます。